

船越中学校便り

中 研 司

<http://www.funakoshi-j.edu.city.hiroshima.jp/>

夏休みを終えて

長いと思っていた夏休みも飛び去るように終わってしまいました。まだ、1ヶ月ほど前期が続きますが、朝夕は涼しさを感じる事が多くなり、季節は秋を迎え、一年の内でも最もよい季節となります。植物の世界では、春に芽を出し、梅雨の季節に大きく成長し、夏の暑さの中で栄養をたっぷり体内に取り込み、秋に実として結実させるわけですが、生徒たちは、この長い夏休みに自分自身を成長させる栄養をしっかりと体内に取り込むことができたでしょうか。その目安となるのが、前期の期末試験や体育祭、文化部や授業での作品展示ではないかと思っています。どんな実となって目の前に現れるのか、その結果やできばえが楽しみです。

世界では、4年に一度のオリンピックで、一足先にそれぞれの実りの時を迎えた選手が大勢いました。前回のアテネオリンピックに続いて2大会連続のメダルに輝き注目を集めた選手や、国内の選考の段階で涙を飲み、引退を表明した選手、今回のオリンピックで新たに登場した新鋭の選手、それぞれ悲喜こもごもでしたが、そのような中で、一番印象に残ったのは、なんと言っても陸上の400mリレーで銅メダルとなった朝原選手です。彼は、21歳で国体の100mで優勝して以来、長年日本短距離界のトップを走り続け、35歳の昨年の大阪世界陸上で不本意な結果となったため、一度は引退を表明したのですが、再度北京オリンピックへの挑戦を表明してカンバックし、今回の銅メダルとなったわけです。陸上の短距離種目は、強靱な筋力等の高い運動能力を要するため、日本人のメダルは無理だといわれていた種目ですが、その大きな壁に15年にわたり挑み続け、36歳の今年、様々な幸運にも恵まれて日本人男子としてはじめてトラック種目での銅メダル獲得に貢献したことは、その挑戦の期間の長さ、それを可能とした精神的な強さ、年を追う毎に体力が衰えていくことを考えるとまったく「すごい」という言葉しか出てきません。

そんな感激から我に返り、自分自身のことを考えると、「年のせいか物忘れが激しくなった」とか、「体力が衰えた」とか、「集中力が持続しなくなった」と、泣き言ばかり多くなり、自分の不摂生や工夫を蔑ろにしていることを省みようとしてもいない、まったく、不甲斐ない限りです。

そこで、今年後半の目標は、「自分に厳しく、笑顔で泣き言は吐かない」でいこうと思っています。

安芸区PTA親善球技大会で優勝しました



本年度も、8月30日(土)安芸区スポーツセンターにおいて安芸区PTA親善球技大会が、盛大に開催されました。

昨年は、惜しくも準優勝でしたが、今年は予選リーグを全勝のトップで勝ち上がり、準決勝で、阿戸小学校PTAを15対11で破り、決勝戦では、矢野小学校を15対7で破り優勝しました。

防犯教室を実施しました

例年実施しています防犯教室を7月18日(金)に海田警察署生活安全課の野村青少年育成官を講師として招き、実施しました。特に今年は、県警音楽隊もアトラクションとして参加していただき、堅苦しい話だけでなく、本格的な吹奏楽の演奏もあわせて楽しむことができたばかりか、カラーガードのドリルも鑑賞することができました。



生徒も町内一斉清掃に参加しました



7月20日(日)の町内一斉清掃は、好天に恵まれ、真夏を思わせるような太陽が照りつける中での清掃となりましたが、本校の生徒も多数参加しました。

今後のおもな予定

- 9月8日(月) ……今年も花配りを行います。
- 9月10日~12日 ……前期期末試験
- 9月17日(水) ……生徒会役員選挙(新しい生徒会の役員が決まります)
- 10月4日(土) ……体育祭(雨天の場合5日に順延)